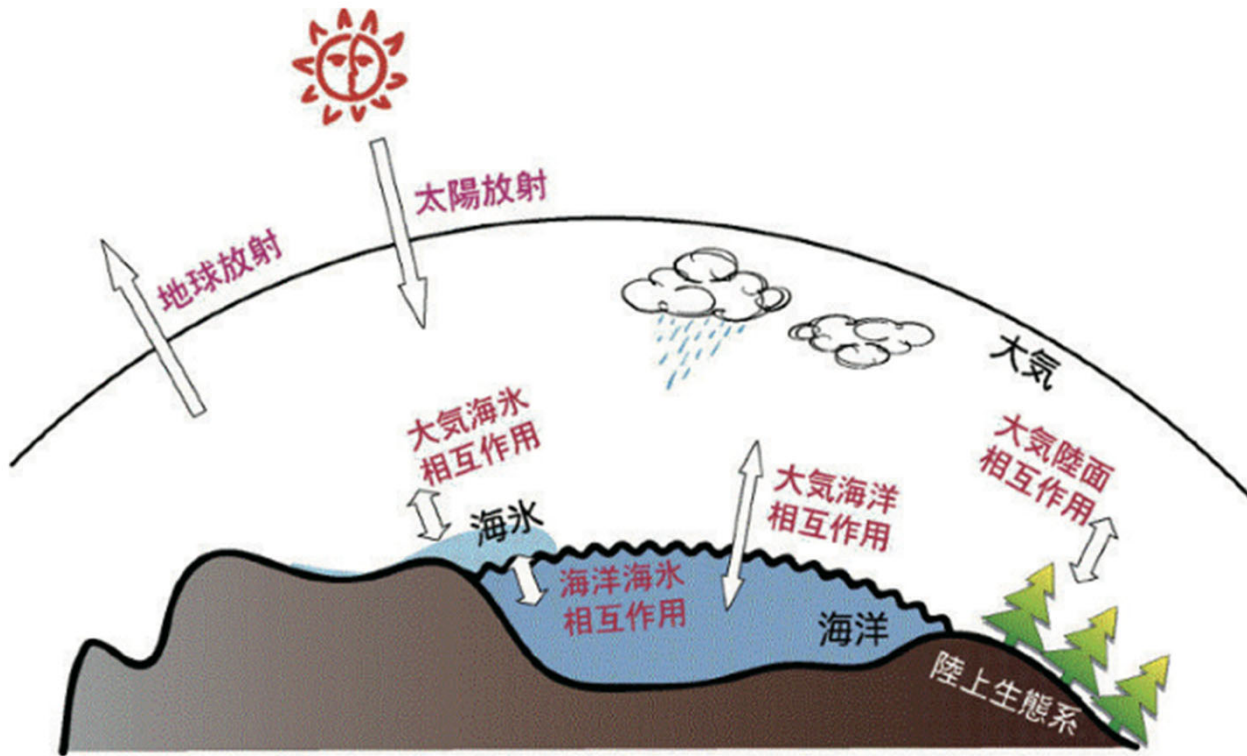


担当教員 *teacher in charge*

北海道大学 大学院環境科学院 教授

谷本 陽一 他



到達目標

大学で求められているのは、現象の記憶に力点が置かれていた高校までの勉強から脱却し、自らの問題意識で解明すべき課題を発見し追究すること。そのためには、必要な事柄を学習し様々な知見を統合し推論を積み重ね、物事の一般化を図らねばならない。

到達目標は、気候変動を題材として日常生活の中にこうした「科学する」心を培うこと。

授業のトピックス

授業計画

地球環境変動 地球温暖化
オゾンホール 大気循環 海洋循環
天気予報 エルニーニョ 海水
古気候 異常気象

成績評価

試験とミニレポートとの総合点で評価する。出席も加味する。

環境と人間

気候変動を科学する

地球温暖化・オゾン層破壊といった人間活動による環境破壊が進行しつつある今日、気候変動の科学は大学で学んでおくべき必須の事柄といってよい。

この講義では、大学院環境科学院を担当する気象学・海洋学の専門家が、それぞれの専門分野の最新の知見に基づき、気候を形成している大気・海洋の循環や天気予報・気候予測などについて、文科系の大学初年度生にも理解できるように解説する